

(作成年月日) 2026 年 7 月 1 日

臨床研究に関する情報

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 3 年 3 月 23 日制定、令和 5 年 3 月 27 日一部改正。）に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名]

高難度大腸癌に対する蛍光尿管ナビゲーション手術の有用性に関する後ろ向き観察研究

[研究の目的]

大腸がんと診断されて手術が行われた患者さんのうち、蛍光尿管カテーテルを挿入した蛍光尿管ナビゲーション手術を受けられた方の手術後の経過を調査することで、将来同じような大腸がんにかかった方の治療法の向上に役立てるため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

大腸がんと診断された患者さんで、2022 年 1 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日の間に香川大学医学部附属病院消化器外科で蛍光尿管カテーテルを用いた蛍光尿管ナビゲーション手術が行われた方

○利用する情報

情報：年齢、性別、生年月日、BMI、術前併存疾患の内容、血液検査データ（腫瘍マーカー）、腹部手術歴、腫瘍の局在（周在）、術前進達度、術前リンパ節転移度、術前遠隔転移の有無、術前腫瘍進行度、術前治療の有無と内容、手術日、手術時間、出血量、手術方法、側方郭清実施の有無、他臓器合併切除の部位と詳細、開腹移行の有無、蛍光尿管カテーテル関連合併症の有無と内容、尿管損傷発生の有無、術後合併症発生の有無（Clavien-Dindo 分類）とその内容、退院日、術後在院日数、組織型、腫瘍最大径、組織学的深達度、組織学的リンパ節転移度とリンパ節転移個数、リンパ節郭清個数、組織学的進行度、切除断端（radial margin）におけるがんの取り残しの有無、脈管（静脈・リンパ管）侵襲の有無と程度、側方転移の有無、R0 切除（腫瘍の完全切除）の有無

○上記情報の利用開始予定日

倫理委員会承認日

[研究責任者]

香川大学医学部消化器外科学 助教 近藤 彰宏

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院消化器外科 担当医師 近藤 彰宏

電話 087-891-2438 FAX 087-891-2439